

江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて
江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画(案)
基調講演並びにご報告会開催のご案内

この度、策定いたしました、江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画(案)につきまして、下記の通り、基調講演並びにご報告会を開催致しますので、ご案内申し上げます。

◆開催日時 2017年11月30日(木) 午後3時半から午後5時半(予定)

◆会場 学士会館 302号室 (詳しくは別紙の案内図をご覧ください。)
〒101-8459 千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5936(代)

◆開催概要

1) 基調講演

・テーマ : 江戸城と文化財

・講師 : 文化庁 文化財調査官 浅野 啓介様

2) ビジョン・5カ年基本計画(案)のご報告

◆参加費 2,000円(部屋代、資料代、人件費、雑費等)

※当会は非営利法人のため、実費等を頂戴させていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。領収書はご用意しておりますので、お申し出ください。

◆参加人数 50名 ※お申込み先着順で満員となり次第、締め切りとさせていただきます。
※ご報告会は、今後も複数回、開催する予定としております。

◆申込み方法

お申込みは、11月27日(月)までにお願いたします。

当ご案内を印刷いただき、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAX[03-6261-6813]でお申込みください。

Eメールでの申込みは、下記事項を明記の上、[info@zaidan-edojo.or.jp]まで送信ください。

お申込み後に参加の可否について事務局よりご連絡いたします。

また、お申込み後に参加を見合わせる場合は、前日までに必ず事務局にご連絡ください。

基調講演並びにご報告会 参加申込書(月 日)

お名前	会員番号	メールアドレスまたはご住所	連絡先電話番号

※会員番号はお分かりになる方のみご記入ください。

学士会館 案内図

〒101-8459 千代田区神田錦町3-28

電話 03-3292-5936(代)

〔最寄り駅〕

- 【電 車】
- 都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車 A9 出口から徒歩 1 分
 - 東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a 出口から徒歩 5 分
 - JR 中央線／総武線「御茶ノ水」駅下車御茶ノ水橋口から徒歩 15 分

【タクシー】「東京」駅 丸の内北口からタクシーで 10 分



江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて 江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画(案) 基調講演並びにご報告会 実施報告

- ◆開催日時 2017年11月30日(木) 午後3時半から午後5時半
- ◆会場 学士会館 302号室
- ◆参加者 30名(会員及び一般市民)

1. 開会

2. 代表理事挨拶 (小竹直隆代表理事)

- ・観光文化立国を目指し、世界五大都市東京の歴史的・文化的モニュメントとして、ビヨンド 2020 江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて、「江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画(案)」を策定した背景について説明がありました。



3. 基調講演「江戸城と文化財」

講師：文化庁文化財部記念物課 史跡部門 文化財調査官 浅野啓介氏

- ・浅野調査官がご担当の文化財について、「文化財保護の歴史」、「文化財の種類」、「史跡と特別史跡」、そして「特別史跡 江戸城跡と史跡江戸城外堀跡」、最後に「文化財保護法改正の議論」に至るまで、配布資料と、スクリーンに映像資料を映しながら解説がありました。



- ・「江戸城周辺の地形と文化財」や、江戸城に留まらず、日本全国各地の特別史跡のご紹介など、文化財に関する豊富な解説をしていただきました。



(「史跡江戸城外堀跡保存管理計画」より引用)

- ・参加者からは、「スケールの大きな話で、すばらしいと思った」、「管轄省庁担当の方が、文化財や江戸城について、どのような見方をしているのか知ることができた」など、大変良かったとの感想が多く聞かれました。



4. ビヨンド 2020 ビジョン・5ヵ年基本計画(案) ご報告 (内田常務理事・事務局長)

・この度、策定した「江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて 江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画(案)」について、スクリーンに映像資料を映しながら、江戸城天守から江戸城ルネッサンスとして目指しているもの、ビジョン・5ヵ年基本計画(案)の位置付けとポイント、今後の活動等について報告がありました。

・参加者からは、「基本計画案において、「なぜ」を問うていく点に、今後の発展を感じた」、「今後の方向性がよく分かりました。今後益々専門的な幅広い活動になっていくと思います。応援しています。」など、大変分かりやすかったとの感想が多く聞かれました。



5. 閉会の辞 (齋藤専務理事)

以上